

規約変更箇所

- ① 自局のコールサインの送出の頻度を明確化しました。
- ② 1.9MHz 帯での SSB の追加に伴い電信電話 1.9MHz 部門を追加しました。
- ③ コンテスト周波数を JARL のコンテスト規約に準ずるとしました。
- ④ 送信出力の上限を 100W に設定しました。
- ⑤ 電信電話部門のエントリー条件を明確化しました。
- ⑥ エントリー部門はログの交信内容ではなく、サマリーシートの内容で判断することを明確化しました。
- ⑦ 社団局の部門コードを変更しました。
- ⑧ 社団局のオペレーターの数を問わないと明確化しました。
- ⑨ 電信での呼出方法で県外局は CQ KMO TEST に変更しました。
- ⑩ S02R での参加、RBN、国内クラスター利用の有無をサマリーシートの意見欄に記入をお願いしました。

2022 オール熊本コンテスト規約

開催日時：2022 年 01 月 09 日(日) 09:00~18:00

参加資格：日本国内のアマチュア無線局および SWL

使用周波数：1.9~1200MHz：JARL コンテスト周波数帯を使用(3.8/10/18/24MHz を除く)

送信出力：個人局、社団局ともに上限 100W とする。

交信相手：県内局：日本国内で運用するアマチュア局 県外局：熊本県内で運用するアマチュア局

呼出：電信：県内局「CQ KM TEST」**県外局「CQ KMO TEST」** 電話：「CQ 熊本コンテスト」県内局はコールサインの後に「県内局」を送出し、県内局であることをアナウンス する

コンテストナンバー： 県内局=RS(T)+市郡区ナンバー 県外局=RS(T)+都府県支庁ナンバー

得点：アマチュア局=各バンド毎に異なる局との交信 1 点、SWL 局=各バンド毎に異なる局の受信 1 点 但し同一バンドで同一局でも電話と電信での交（受）信はそれぞれ有効とする

マルチプレイヤー：

県内局=完全な交（受）信を行なった相手局の運用場所を示す熊本県以外の異なる都府県支庁及び熊本県内の市郡区。ただし、バンドが異なれば同一都府県支庁及び熊本県内の市郡区であってもマルチプレイヤーとする。

県外局=完全な交（受）信を行なった相手局の運用場所を示す異なる熊本県内の市郡区。ただし、バンドが異なれば同一熊本県内の市郡区であってもマルチプレイヤーとする。

総得点：マルチバンド：「各バンドで得た得点の和」×「各バンドで得たマルチの和」

シングルバンド：「当該バンドで得た得点の和」×「当該バンドで得たマルチの和」

参加部門・種目

(電信電話部門)			
種目		コードナンバー	
		県内局	県外局
個人局	1.9MHz	KF 1.9	GF 1.9
個人局	3.5MHz	KF 3.5	GF 3.5
個人局	7MHz	KF 7	GF 7
個人局	14MHz	KF 14	GF 14
個人局	21MHz	KF 21	GF 21
個人局	28MHz	KF 28	GF 28
個人局	50MHz	KF 50	GF 50
個人局	144MHz	KF 144	GF 144
個人局	430MHz	KF 430	GF 430
個人局	1200MHz	KF 1200	GF 1200
個人局	マルチバンド	K F M	G F M
個人局	SWL マルチバンド	K F SWL	G F SWL
社団局	マルチバンド	K F S M	G F S M

(電信部門)			
種目		コードナンバー	
		県内局	県外局
個人局	1.9MHz	KC 1.9	GC 1.9
個人局	3.5MHz	KC 3.5	GC 3.5
個人局	7MHz	KC 7	GC 7
個人局	14MHz	KC 14	GC 14
個人局	21MHz	KC 21	GC 21
個人局	28MHz	KC 28	GC 28
個人局	マルチバンド	K C M	G C M
個人局	QRP マルチバンド	K C M Q	G C M Q
個人局	SWL マルチバンド	K C SWL	G C SWL
社団局	マルチバンド	K C S M	G C S M

注1、 自局のコールサインは一交信毎に送出することを推奨します。

注2、 社団局のオペレーターの数は問わない(一人でも可)

- 注3、 QRP 種目参加局は空中線電力が 5W 以下であること、ATT, Power Control 等で出力を 5W に低減したのも認める。(サマリーに使用 Rig 名・自作の場合ファイナル必ず明記すること)
- 注4、 電信電話部門へのエントリーは、電信並びに電話両方での交信、又は電話のみの交信があった場合のみエントリーできる。
- 注5、 マルチバンドや電信電話で交信したがシングルバンド、又は電信部門へのエントリーの場合には、エントリー部門はサマリーシートの内容で判断します。その際、他のバンド、モードはチェックログとしますので、全ての交信のログ提出を推奨し、サマリーシートにはエントリー部門に該当する交信局数、得点、マルチのみの記載をお願いします。
- 注6、 マルチバンドへのエントリーは交信したバンド数を問わない。
- 注7、 交信上の禁止：JARLコンテスト規約に準ずる。
- 注8、 データ取りの為、S02R での運用、RBN、国内 J クラスター等の利用の有無を意見欄に記入をお願いします。成績には影響しませんが、結果発表でコールサインと共に表示します。
- 注9、 何らかのクレームがある場合には、その根拠を提示して、委員会へ申告をお願いします。

書類提出：形式は JARL 制定 (R1.0) の「サマリーシート」および「ログシート」(または同形式のもの) を使用し、必要事項を記入すること。R2.0 での提出はチェックログ扱いとなりエントリーは無効となります。

結果希望者は 84 円切手貼付の SASE 同封(Web 上でも同様のものを掲載予定)

社団局はその運用者全員のコールサイン(もしくは氏名)と無線従事者資格をサマリーシートの意見欄に記入すること(結果発表での運用者リストでコールサイン又は氏名を掲載します)

提出(紙ログ)・問い合わせ：〒861-0821 熊本県玉名郡南関町下坂下 1926-1

JG6TXW 清田政勝 (jg6txw@jarl.com)

電子ログ： kumamoto2022@jarl.com (JARL 形式のログ・サマリーシート(R1.0)をメール「本文」にテキスト形式で貼り付けてください。「件名」は使用した**コールサインを大文字**で)

※ ログ・サマリーシートの受理メールは送信しません。その代わりに支部のコンテストページに「ログ受付リスト」を掲載しますので数日経っても掲載されない場合にはログ・サマリーを再送して下さい。またログ・サマリーシートの形式が R2.0 での提出の参加者のコールサインも掲載しますので、R1.0 での再提出をお願いします。**再提出に限り期限は 2022 年 01 月 20 日とします。**

締切：2022 年 01 月 17 日 (月曜日)

E-Mail の場合はタイムスタンプで、郵送は消印で判断します。

結果発表：JN, 熊本県支部 Web 上でも発表

表彰：部門ごとに参加局数に応じて上位の局を表彰

表彰対象は、参加局数 **10局以下** **1位のみ**

11局～20局 **2位まで**

21局～30局 **3位まで**

31局～40局 **4位まで**

41局以上 **5位まで**

得点と同じ場合には早く交信を開始した局を上位に、同時の場合には遅く終了した局を上位とする。この根拠は、このコンテストにどれだけ多くの時間を捧げたかの評価を意としています。

飛び賞：

今回電子ログで提出局の受付番号 1・43・100・150・200・250・300・350・400・450・500 の局には粗品を送ります。(1番は18:00終了後ログ提出とします)

=県内局の方へ協力のお願い=

今回も前回同様に集中時間帯を設定していますので、是非この機会に貴方のコールサインを聞かせてください。**集中時間帯は 09:00～10:00／13:00～14:00／17:00～18:00** とします。

最後に：

コンテストに関するお知らせを随時掲載しますので、開催1週間程度前には支部のコンテストページをチェックして下さい。アドレス <https://www.jarl.com.kmatest/>

熊本県支部コンテスト委員会